

第5学年 総合的な学習の時間学習指導案

平成29年9月28日(木) 5校時

場所 学校図書館

指導者 担任 司書教諭 学校司書

1 単元名

米プロジェクト ～米の未来を考えよう～

2 単元の目標

(1) 単元のねらい

○ 米についての学習を通して米に関わる課題を見つけ、地域の人々と関わりながら、友達と協働して課題解決に取り組むとともに、追究したことを発信していくことができる。

(2) 単元で育てたい力

【問題解決の力】

○ 追究したい課題を見つけ、適切な方法を考えながら情報を収集し、友達と協働してまとめ、発表する力。

【自己表現力】

○ 課題追究してきたことを分かりやすく発信するとともに、自分たちの生活を見直し、自分自身にもできることを考える力。

【コミュニケーション能力】

○ 友達と協力して課題を解決する力

○ 地域の人々と関わる中で、自分たちにできることを考え実践しようとする力。

(3) 本単元で身につけさせたい情報活用能力

※ () 内の記号は「情報メディアを活用する学び方の指導体系表」の指導内容

- I 課題設定 資料や米作りに関わる人たちから情報を集め、適切な思考ツールを使って、課題を設定し、学習計画をたてる。(I-エ)
- II 情報の収集 年鑑の使い方を知る。(II-ス)
情報カードを利用し情報を記録する。(II-マ)
- III 情報の整理・まとめ 集めた情報を思考ツールを使いながら整理し、フリップボードにまとめる。(III-サ)
- IV 発表 友達と協働し、資料を活用しながら伝えたい内容を発表する。(IV-カ)

3 単元の評価規準

問題解決の力	自己表現力	コミュニケーション能力
・適切な課題を設定し、情報源を選んで情報を集め、まとめや発表をしている。	・自分の課題を追究する中で考えを広げたり深めたりしながら、自分の考えや生活を見直そうとしている。	・友だちと協働し、自分の考えを分かりやすく伝えている。 ・地域の人と積極的に関わろうとしている。

4 単元設定について

(1) 児童について

(省略)

(2) 教材について

日本人にとって米は主食であり、古くから米を中心とする食文化を育ててきた。しかし、近年、日本の食生活は大きく変化し、米の一人あたりの年間消費量は昭和37年に11.8kgであったのに対して、平成26年にはその半分程度の5.5kgにまで減少している(農林水産省調べ)。5年生は、社会科単元「わたしたちの生活と食糧生産」で米作りについて学習する。教科書や図書資料から、稲作の現状や、米作りに関わる人の願いや苦勞、問題点を知ること、児童に米への関心が高まると考える。

同時に、本校では伝統的に5年生が地域の方の協力で、米作りの体験活動を行っている。米作りの指導者は、米作りを専業にして地域の米作りを支え、28年度から生産が開始された地域の特産米「つや姫 焔（ほむら）米」も育てている人である。米の生産や消費が減少する一方で、このように米作りに力を入れている農家があること、特産米の生産に力を入れている雲南市の取り組みがあること、JAによる様々な米作りの支援があることなどを知ることが、これからの米作りを考える上で大切である。児童にとっては、様々な立場の人から話を聞くことで、米についての知識や理解が深まり、これからの米作りや食糧生産についてもっと調べてみたいという気持ちをもてると考える。

体験的な学習や様々な人との関わりを通して知識を広げた上で、これからの米作りを考える「米プロジェクト」として追究課題を設定する。そして、図書資料やインタビューなどで情報を集め、整理してまとめ、学びを発信することで、児童に問題解決やコミュニケーションの力がつくと考える。同時に、この米の学習をきっかけに地域の未来を考えることは、自分たちの生活を見直し、自分たちにできることを考え、これからの生活を想像する力がつくと考えられる。

(3) 指導について

指導にあたっては、米作りについて体験したり学んだりしたことをもとに、米の未来について考え、それを、対象を決めて発信するという意識の流れを児童がもてるようにする。

第一次では米作りの体験活動を行う。種まきの見学、田植え、田んぼの観察（中干し）、よりづくり、稲刈り、はで干し、といった稲作の流れを昔ながらの手作業で体験することで、米への興味や関心をもたせ、作る楽しみや苦勞に気づかせていく。同時に、米作りに携わる人にインタビューし、米作りへの思いや願い、工夫、苦勞などについても調べていく。並行して、社会科の「私たちの農業」「私たちの生活と食糧生産」で、米作りや米をはじめとした農業の現状や問題点について学習する。教科で得た知識と米を育てる体験活動を通して、米について興味をもたせ、調べていきたいという意欲をもたせていきたい。

第二次では、「米プロジェクト①～米の未来を考えよう～」として米作りの問題点とその解決に向けての調べ学習を行う。まず、司書教諭や学校司書から年鑑の使い方や図書資料の使い方を学びながら、米を取り巻く現状について問題意識をもたせる。

その上で、米作りで世話になっている農家や、JA、市役所の方に現状と取り組み、どういう未来像をもっているかなどのお話を聞く。現状は厳しいけれども、さまざまな工夫をする姿から、児童は、自分たちでも米作りや消費を増やす取り組みなどを調べてみたいという意欲がもてると考える。

体験活動や米にかかわる人の話の中から、調べてみたいことを見つけ、課題の設定を行う。思考ツールを使い、「米作りをめぐる問題点を解決する取り組み」について児童が追究してみたい課題を決め、調べ学習を行う。追究課題が似ている児童同士で相談しながら学習を進め、図書資料やインタビューなど、情報源を決め、必要な情報を情報カードを使って集めていく。図書資料は学校司書の選書やアドバイスにより、適切なものを手に取れるようにする。集めた情報は思考ツールを使ってグループで話し合い、伝える情報を決める。そして、グループごとに整理した情報をパワーポイントを使った発表資料としてまとめていく。その際、レイアウトや資料を工夫し、自分たちの伝えたいことがよくわかるようなまとめ方を工夫させたい。発表ができるようになったら、中間発表会を行い、友達に発表の仕方などについてアドバイスを求める場を設け、自分たちの調べたことや思いがより伝わるようにしたい。

第三次では、「米プロジェクト②～収穫祭で地域の人に伝えよう～」として、追究してきたことの発表と、育てたお米の収穫を祝う活動を考えさせていきたい。米の学習で世話になった人を招き、これまでの学習で学んだことを発表したり、感謝の気持ちを伝えたりする場としたい。

第四次では、米の学習を振り返る。米の未来を考えることで気づいたり見つけたりした、地域のよさをお互いに伝えられるようにするとともに、友達のよさや、自分自身の成長を感じられるまとめとしたい。

5 指導と評価の計画（全34時間、本時15/34）

次	学 習 活 動	評 価 規 準	学校図書館の活用	他教科との関連
一 米作りを体験しよう⑩	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・米作りを体験し、米について学習することを学ぶ。 ○米作りを体験する。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方のお話を聞く（種植え） ・田植え（機械見学、手植え体験） ・稲と田んぼの見学 ・よりづくり ・稲刈り、はで干し ○米作りのまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・教わったことを整理しまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・米作りに興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。（ワークシート） ・学んだことを、わかりやすくまとめている。（ワークシート） 		（社会） <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活と食糧生産 ・米づくりのさかんな地域。 （理科） <ul style="list-style-type: none"> ・植物の発芽と成長 （道徳） <ul style="list-style-type: none"> ・自然愛、環境保全「もったいない」
一 米プロジェクト①	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と話をすることで、米を取り巻く現状について知り、追究していきたいことを考える。 ・学習年鑑を使って、米についての様々な統計を読み取り、テーマ決め役に役立てる。 ・米について調べるためのブックトークを聞き、どんな資料を使うか考える。 ○課題を設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールを使って何を調べるのかを考え、課題を設定する。（本時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への見通しをもつ。（行動観察） ・年鑑で調べた統計から分かった問題点等を意識している（ワークシート）。 ・自分たちの思いに沿った適切な課題を設定している。（ワークシート） 	<ul style="list-style-type: none"> ○選書、ブックトーク、年鑑等の使い方 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学校司書</div> ○思考ツールを使った課題設定 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学校司書</div> 	並行読書 ↓
一 米プロジェクト①〜米の未来を考えよう⑮	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマに沿って調べ学習を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの課題について、調べるための情報源となる本などをさがす。 ・図書資料やインタビューなどから必要な情報を見つけ出し、情報カードにまとめる。 ○整理・分析・まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報カードを並べたり分類したりして、取捨選択する。 ・自分たちが伝えたいことがよくわかるように、文章構成、図などの使い方、レイアウトを考え伝えたいことが明確になるようにまとめる。 ○中間発表会を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・発表に向けての相談、練習をする。 ・調べたことを生かした発表をする。 ○ふりかえりをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分と友達の発表のふりかえりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて、グループで協力し、適切な情報を収集している。（情報カード） ・グループの課題に沿った情報を選択・整理・分析している。（ワークシート） ・わかりやすく伝えるために、工夫してまとめようとしている。（パワーポイント） ・伝えたいことを相手に分かりやすく表現している（発言、行動） ・自分の成長や友達のよさに気づいている。（発言・ワークシート） 	<ul style="list-style-type: none"> ○適切な選書についてのアドバイス <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">司書教諭</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">学校司書</div> 	並行読書 ↓

<p>三 米プロジェクト② 収穫祭をひらこう⑦</p>	<p>○収穫祭の計画を立てる ・お世話になった人に感謝の気持ちを表現したり、「米プロジェクト」の学びを発表し、評価してもらったりする会になるように、計画を立てる。</p> <p>○収穫祭の準備をする。 ・役割を決め、地域の方に感謝の気持ちが伝わるように、準備をする。</p> <p>○収穫祭で発表する準備をする。 ・中間発表を生かして、より良いものになるようにする。</p> <p>○収穫祭を開催する。 (会食、発表) ・自分の役割や発表をやりとげる。</p>	<p>・学んだことを生かして考え、準備している。(行動、ワークシート)</p> <p>・ふりかえりを生かし、より良い発表をしようとしている。(、発言)</p> <p>・地域の方に感想をもらうことで、自分の成長や友達のよさに気づいている。(ワークシート)</p>		<p>(家庭科) ・ご飯とみそ汁を作ろう</p>
<p>四 学びを振り返ろう②</p>	<p>○米プロジェクトを振り返る ・自分の成長に気づき、活動の振り返りができるよう場を設定する。</p> <p>○お世話になった方へお礼状を書く。 ・相手に学習したことや感謝の気持ちが伝わるように手紙を書く。</p>	<p>・学習したことを生かし、まとめようとしている。(ポートフォリオ)</p> <p>・相手に応じて適切に表現している(手紙)</p>		

6 本時の活動（第2次 5/15）

(1) ねらい

米を取り巻く問題への取り組みについてイメージや知識を広げ、自分が調べていきたいことについてテーマ（課題）を設定することができる。

(2) 展開

時間	学習内容	教師の支援（☆）と評価（◎）									
0分	1 本時のめあてと学習内容を確認する。	☆前時までの学習をふりかえり、米を取り巻く問題点にはどのようなものがあったのか確認する。									
5分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">自分が調べていきたいこと（テーマ）を決めよう。</p> <p>2 「米を取り巻く問題点を解決するためにはどうしたらいいか」をグループで考えマンダラシートを作成する。 〈書くと予想されるキーワード〉 【米が売れるようにするにはどうしたらいいか】 ・品種改良でおいしいお米 ・米粉の利用 ・ブランド米（つや姫） ・外国への米の輸出 ・米のおいしさや栄養を伝える・米のおいしい食べ方</p> <p style="text-align: center;">【マンダラシート 例】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">品種改良をする</td> <td style="width: 33%;">外国に売る</td> <td style="width: 33%;">米のよさを伝える</td> </tr> <tr> <td>おいしいお米を作る</td> <td>米が売れるようにするにはどうしたらいいか</td> <td>米粉の利用</td> </tr> <tr> <td>安くする</td> <td>おいしい米料理を広める</td> <td>お土産売り場に置く</td> </tr> </table> <p>【米を作る人を増やすにはどうしたらいいか】 ・UI ターン（若い人を連れてくる） ・簡単にできる米作り ・会社を作る ・助けてあげる（農業支援） 【温暖化や天気に影響を受けないためにはどうしたらいいか】 ・作る米の品種をかえる・米粉にして利用する</p>	品種改良をする	外国に売る	米のよさを伝える	おいしいお米を作る	米が売れるようにするにはどうしたらいいか	米粉の利用	安くする	おいしい米料理を広める	お土産売り場に置く	☆自分の付箋を出すときに、説明しながら貼っていくようにする ◎グループの友達に伝わるように話し、建設的に話し合いを進めている。（行動観察、発言、マンダラシート）
品種改良をする	外国に売る	米のよさを伝える									
おいしいお米を作る	米が売れるようにするにはどうしたらいいか	米粉の利用									
安くする	おいしい米料理を広める	お土産売り場に置く									
20分	<p>3 自分が調べていきたいことを決め、それについて</p> <p>①選んだ理由 ②くわしく調べていきたいことを考えてくま手図に書く</p> <p style="text-align: center;">【くま手図 例】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">米粉</td> <td style="padding-left: 10px;"> <u>米粉にはどんな利用方法があるのか</u> <u>米粉を使った商品にはどんなものがあるか</u> <u>米粉を使った料理にはどんなものがあるか</u> </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding-left: 10px;"> <u>米のどのくらいの量が米粉になっているのか</u> <u>米粉パンのお店の人はどうして米粉のパンを作ろうと思ったのか</u> <u>雲南市ではどんな料理に使われているのか</u> </td> </tr> </table>	米粉	<u>米粉にはどんな利用方法があるのか</u> <u>米粉を使った商品にはどんなものがあるか</u> <u>米粉を使った料理にはどんなものがあるか</u>		<u>米のどのくらいの量が米粉になっているのか</u> <u>米粉パンのお店の人はどうして米粉のパンを作ろうと思ったのか</u> <u>雲南市ではどんな料理に使われているのか</u>	☆思考ツール（くま手図）の使い方を説明する。（司書教諭） ☆思いつきにくい児童には、地域の人の話を聞いたワークシートや本を参考にするとよいことを助言する。（学校司書による本のアドバイス） ☆テーマを選んだ理由を記入する際には、米作りの未来を考えると意識をもって書けるようにする。 ☆グループの友達と相談しながら書いてもいように助言する。 ◎「米の問題を解決するためにどうしたらいいか」を意識して、テーマを設定しようとしている。（くま手図）					
米粉	<u>米粉にはどんな利用方法があるのか</u> <u>米粉を使った商品にはどんなものがあるか</u> <u>米粉を使った料理にはどんなものがあるか</u>										
	<u>米のどのくらいの量が米粉になっているのか</u> <u>米粉パンのお店の人はどうして米粉のパンを作ろうと思ったのか</u> <u>雲南市ではどんな料理に使われているのか</u>										
35分	4 決めた課題を発表する。	☆決めたテーマと、それに決めた理由を発表する。									
40分	5 本時の振り返りをする。 ・本時を振り返り、次時の学習への見通しをもつ。	☆感想を交換し、次時への意欲付けをする。									

(3) 本時の評価

十分満足とされる児童の姿	おおむね満足とされる児童の姿	支援を要する児童への具体的な支援
<ul style="list-style-type: none">・問題への取り組みについて、グループで積極的に話し合っている。・問題への取り組みとして適切なテーマを考え、具体的に調べたい(伝えたい)ことを書いている。	<ul style="list-style-type: none">・問題への取り組みについて、グループで意見を出している。・問題への取り組みとしてテーマを考え、具体的に調べたい(伝えたい)ことを書いている。	<ul style="list-style-type: none">・自分の調べたいことを見つけていけるように、今までの学習を想起したり、図書資料を見たりしながら助言する。

(4) 研究の視点

- ・課題の設定に当たって思考ツール（マンダラシート，くま手図）を使ったことは，自分の調べていきたいことを焦点化するのに有効であったか。【研究内容ア：課題設定の工夫】
- ・グループの友だちと話し合っって課題を設定したことは，追究したい課題を見つけるのに有効であったか。【研究内容キ：学習形態の工夫】